

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		6/10~6/17	6/17~6/24
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.140
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.069
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.044
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	0.014
		セシウム137	0.190
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.056
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.044
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.052
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.089

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		6/10~6/17	6/17~6/24
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.052
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.038

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

南相馬市内10測定地点におけるセシウム137濃度は平均0.057mBq/m³と極めて低い濃度で大気浮遊じんを介した健康影響については心配不要です。

新型コロナウイルス感染問題が解決せず、世間と同じ様に、私も学生の講義と科学者間の研究会議をインターネット上で行なっていますが、どうもじっくりときません。「参加者の顔が並んでいる画面の小さな枠」を見て話すことは難しく、なかなかスムーズに進みません。やはり直接、顔を見て話さないと心のこもった会話は困難です。このように間接的な会話でなく、できる限り直接、会話することこそ、災害時におけるリスク回避やその後の現地の状況を正確に伝えるために一番大切な事だと感じています。